

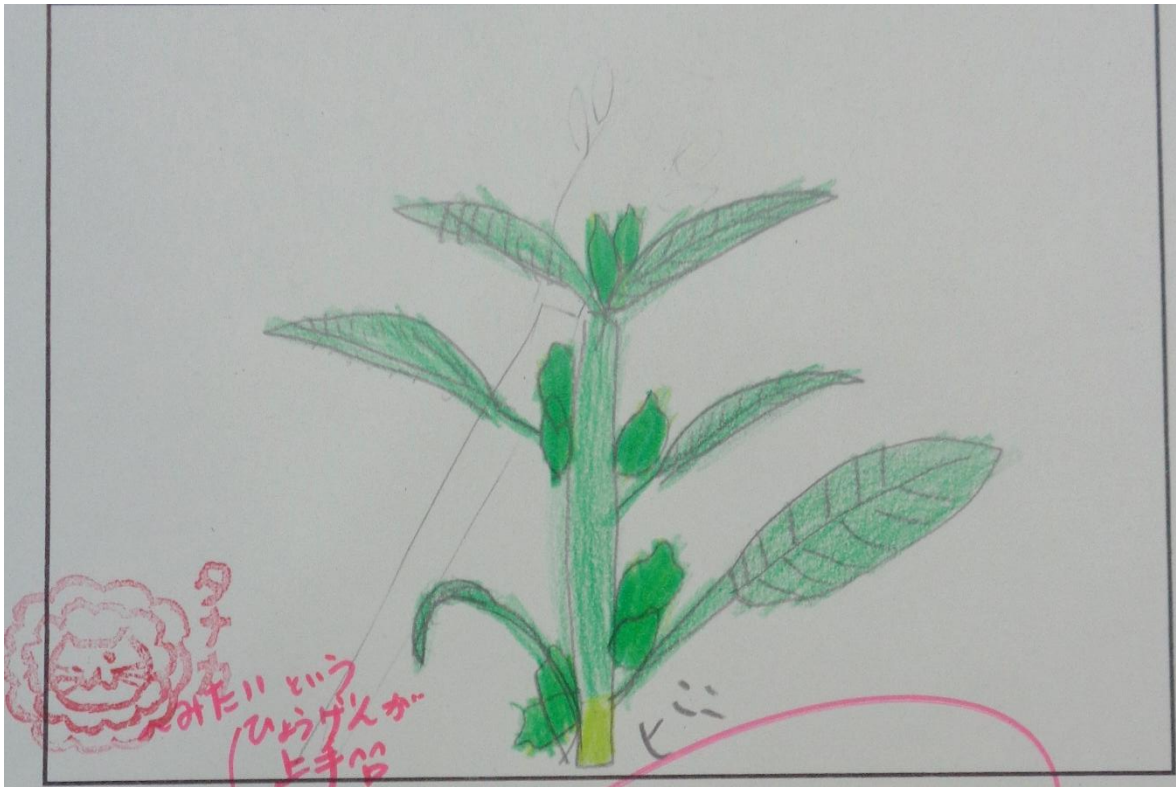


いっしょにちとろさ



はつひつ
よく見ているわ!!

~~ごまは、ちいさばからとるんかおすか
しいそだてるのもたいへんだった。
ながさは2cmくらいで、かつかに80cm
ぐらいありました。まるでかえるのたまご
みたいで、いっぱいはめてました。
た。さわりごこちは、ざらざらでした
に、あいは、あんまりしなかつたです。
かたちは、まるくて、うんかこんがらっていました。~~



まだできていないみどりのゴマは、ふあ
ふあであたみたいでした。おたしはたまねぎ
おたいてした。おたしのゴマは、26こあり
ました。おたしは下のところのいろは、きみ
どりでした。みんなでがんはって、
そたそた、ゴマは、ぜったいにおいしいです。



ゴマの花が咲いたとき、「かわいい」「こんな花なんや」と、言っていました。ゴマはどこにできるのか・・・と楽しみにしていました。



中に残っているゴマを、1つずつ手で取りだしているところです。

ひとつひとつ丁寧に扱っていました。いくつあるか数えてみました。8000粒を超えたときに、

空のペットボトルに入れてみました。



たくさんあると思っけていても、ペットボトルに入れたらほんの少しに見えて、それに驚いていました。栽培、収穫等の作業をしてみても初めて、小さなゴマに大きな思いを寄せることができました。今でも、ゴマのようなものを床で見つけたら、「先生、ゴマだと思ひます。」と、ごみにするのではなく、いったん確かめてひます。2年生なので、その思いを表現するだけの言葉や文章表現は難しかったようですが、実感はもてていたようです。体験させていただき、ありがとうございました。